



関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	情報処理 I
教科書	「基礎C言語プログラミング」 河野英昭、横尾徳保、重松保弘 著（共立出版）
補助教材等	
学習上の留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、確実に手を動かしてプログラムを作成すること。</li> <li>・授業の予習・復習を行うこと。</li> <li>・レポートについては、提出期限を厳守すること。</li> <li>・情報処理センター演習室の使用上のルール・マナーを守ること。</li> </ul>	
担当教員からのメッセージ	
<p>わからないことがあれば、教科書を読み直したり、質問したりするなど、自ら積極的に理解するように努めてください。プログラミングに関する知識と技術を習得するためには、実際に多くのプログラムを作ってみることが近道です。授業中に取り上げる問題以外にも、さまざまなプログラミング課題に挑戦してみてください。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	授業概要の説明 プログラムとコンピュータについて [教科書第0章]	・本授業の目的・概要を説明できる。 ・コンピュータの仕組みとプログラムの役割について説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第1回の講義内容を復習する。
2	C言語の基礎 [教科書第1章]	・プログラムのコンパイルと実行ができる。 ・データの型について説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第2回の講義内容を復習する。
3	簡単なプログラミング1 [教科書第2章2.1-2.2]	printf関数とscanf関数を用いた簡単なプログラムを作成できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第3回の講義内容を復習する。
4	簡単なプログラミング2 [教科書第2章2.3]	ライブラリー関数を用いた簡単なプログラムを作成できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第4回の講義内容を復習する。
5	分岐1 if文 [教科書第3章3.1-3.2]	・if文の使い方を説明できる。 ・分岐のフローチャートを描くことができる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第5回の講義内容を復習する。
6	分岐2 if-else文・switch文 [教科書第3章3.3-3.4]	if-else文とswitch文の使い方を説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第6回の講義内容を復習する。
7	復習とプログラミング演習1	if文、if-else文、switch文を用いた簡単なプログラムを作成することができる。	(予習)これまでの範囲を復習する。 (復習)第7回の講義内容を復習する。
8	<b>中間試験</b>		
9	試験問題の解説 繰り返し1 while文 [教科書第4章4.1]	・中間試験で間違った箇所を理解し、すべて解くことができる。 ・while文の使い方を説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第9回の講義内容を復習する。
10	繰り返し2 do-while文 [教科書第4章4.2]	・do-while文の使い方を説明できる。 ・while文とdo-while文の違いを説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第10回の講義内容を復習する。
11	繰り返し3 for文 [教科書第4章4.3]	・for文の使い方が説明できる。 ・繰り返しのフローチャートを描くことができる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第11回の講義内容を復習する。
12	繰り返し4 break文・continue文 [教科書第4章4.4]	break文とcontinue文の使い方が説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第12回の講義内容を復習する。
13	繰り返し5 多重ループと繰り返しの応用 [教科書第4章4.5-4.6]	・多重ループの使い方が説明できる。 ・繰り返しを応用した級数について説明できる。	(予習)教科書の範囲を読み、内容を把握する。 (復習)第13回の講義内容を復習する。
14	復習とプログラミング演習2	繰り返しを用いた簡単なプログラムを作成することができる。	(予習)これまでの範囲を復習する。 (復習)第14回の講義内容を復習する。
	<b>期 末 試 験</b>		
15	答案返却・解答解説 学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	期末試験で間違った箇所を理解し、すべて解くことができる。	
<b>総 授 業 時 間 数</b>			30 時間